



だっこだっこあみだっこ



- ・ ぼく・わたしをそだてる ほとけのことは「慈悲—やさしさをわかちあおう—」
- ・ 菜園日記
- ・ 浄苑にあつまれ！

親子仏法の集い 毎月開催中

1・2月号



ぼく・わたしをそだてる ほとけのことば

慈悲（じひ）

やさしさをわかちあおう

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう。

「仏心^{ぶっしん}というは大慈悲心^{だいじひしん}これなり」(『観無量寿經^{くわんむりやうじゆきやう}』)

「仏心」とは、仏さまのお心のことです。このお経では、「仏さまの心は、大慈悲の心です」とわたしたちに説かれています。「慈悲」とは、「いつくしみ」と「あわれみ」の心です。

いつくしみの経

「いつくしみの経」というお経の中で、お釈迦さまは次のようにおっしゃっています。

「一切^{いっさい}の生きとし生けるものは、幸福^{ふくこう}であれ、安穩^{あんゑん}であれ。…すべての長いものでも中くらいのものでも短いものでも、…すでに生まれたものも、これから生まれるものでも、すべての生きとし生けるものは自ら幸せであれ。…あたかも母親が、一人っ子の自分の子どもを命をもって守るように、そのようにすべての生き物^{いきぶつ}に対して無量^{むりやう}のいつくしみの心を生ずるべきである」

お釈迦さまはかぎりなく、すべての生きとし生けるものに、母親のような「いつくしみ」を向けてくださっています。

お釈迦さまの説法^{せっぽう}躊躇^{ちゆうちゆう}と布教^{ふきやう}の道

お釈迦さまは、お若い頃より大変な修行をされ、瞑想^{めいそう}を経て、ついにさとりを開かれました。しかし、お釈迦さまははじめ、人々にそのさとりを伝えることをためられ、自分一人だけのものとすべきか悩まれました。さとりの内容があまりにもむずかしく、人に話してもわかってもらえないのではないかと考えられたからです。

そんなお釈迦さまのもとに、梵天^{ぼんてん}という神さまがやってきて、「どうか苦しむ人々に、そのさとりを伝え、救ってほしい」と頼まれたのです。

お釈迦さまは、お考えの後、ついに人々に教えを広める道を選ばれたのでした。これはひとえに「生きとし生けるもの」が「幸福」であるよう、悩める人々を救うため、つまり「慈悲」の心からでした。今、私たちに仏さまの教えが伝わっているのは、このお釈迦さまの慈悲の心のおかげなのです。

わたしたちのくらしと仏教

わたしたちは、毎日のくらしの中で、食事の前には「いただきます」と手を合わせ、食事の後には「ごちそうさま」と言う。もったいない、とものごとを大事にする心、なんでもありがたくいただき、粗末にしない心、おかげさまという感謝の心——古きよき日本人を育てた、仏教の教えです。このように、私たちのくらしには、仏さまの教えがあたりまえのように存在していますが、あたりまえであるからこそそふだん忘れてしまいがちです。

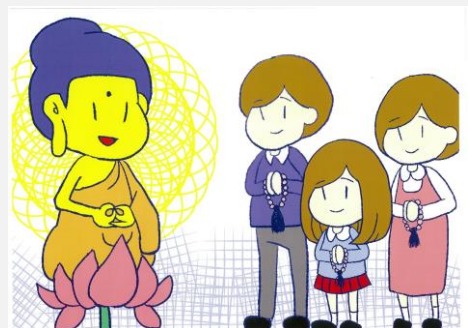
わたしたちの心を育てた仏教は、お釈迦さまの「慈悲」の心のおかげで生まれたということに、今いちど思いを寄せましょう。

やさしさをわかちあおう

そう言うものの、目に見えないものにわたしたちはなかなか気づくことができません。どのようにすれば、お釈迦さまの「慈悲」に気づくことができるのでしょうか？

まずは、身近な「慈悲」の心に気づきましょう。私たちは、お父さん、お母さんから、見返りを求めずにいとおしむ、やさしい心につつまれて、育ってきました。その「やさしさ」をもらうばかりでなく、お父さんやお母さん、兄弟や親せき、お友だちに分けて、お互いに「やさしさ」をわかちあいましょう。

「やさしさ」をみんなでわかちあい、よろこびあう世界を作れば、あなたもみんなも、今よりも幸せになれるはずです。





土にしたしむ 菜園日記

東山浄苑東本願寺には、親子で野菜の種まき・収穫体験ができる（※）菜園があるのを知っていますか？その名も「あみだっこ菜園」です♪

（※）毎月第3日曜日に開催している親子向けイベント「親子仏法の集い」。詳しくは裏表紙に！

しょうがの収穫
カリフラワーの
種まきをしました！

11月



12月



落ち葉ひろいを
行いました！



小さな四季みつけた

いまそだっています！

きょう的菜園

空豆
大根、にんじん
カリフラワー
ルッコラ

新年がはじまります。
浄苑も山々も雪化粧。静かな雪の朝も、浄苑には続々と参詣者が訪れ、にぎにぎしく修正会が始まります。
庭に出ると、子どもたちが作った雪だるまや雪うさぎがあちらこちらに。





親子仏法の集い 毎月開催中！

親子仏法の集いって？

毎月第3日曜日（行事等で変更の場合あり）に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。
また、花まつりでは、毎年こども法要をおつとめしています。
なんでもありがたくいただいて、粗末にしない——古きよき日本人を育てた仏教の教えです。
家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。
乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。お気軽にお尋ねください！

【活動日】毎月第3日曜日 ※年中行事の際には変更

【場 所】東山浄苑東本願寺

【参加費】1家族1,000円 ※初参加無料！

◎ベビールーム完備／屋内無料駐車場完備／参加ご家族30組限定

【お問い合わせ・参加のお申し込み】

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 075-541-8391 毎日9:00
～17:00



参加者募集中！

1月19日（日）
10:00～12:00

【活動内容】 花まつり お経の練習
大根の収穫・落ち葉拾い

【場 所】 東山浄苑内 あみだっこ菜園 等

【参加費】 1家族1回 1,000円◎ 【初参加無料】

2月16日（日）
10:00～12:00

【活動内容】 花まつり お経の練習
土作り

【場 所】 東山浄苑内 あみだっこ菜園 等

【参加費】 1家族1回 1,000円◎ 【初参加無料】

◎花まつりこども法要に参加する方の参加費は異なります。詳しくはお尋ねください。

※活動内容は、天候や作物の成長状態などによって、予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
※雨天の場合は、写経体験や掛軸づくりなどの室内企画を行います！お楽しみに！



LINE で参加申し込みができます。
詳しくはお尋ね下さい。
LINE ID: oyakobuppou



菜園や活動のようすをアップ中！
フォローして画面を提示するだけで
参加費1割引♪（1家族1回のみ利用可）
アカウント名: amidakko

だっこだっこあみだっこ 令和2年1・2月号

令和2年1月10日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山山旭山町8-1 電話 075-541-8391 無料